

# Music Production Toolkit™

Version 7.1



## **Copyright**

© 2006 Digidesign, a division of Avid Technology, Inc. All rights reserved. This guide may not be duplicated in whole or in part without the express written consent of Digidesign.

Avid, Digidesign, Digidesign Intelligent Noise Reduction, DigTranslator, DINR, Music Production Toolkit, Pro Tools, Smack!, SoundReplacer, TL Space Native, and Trillium Lane Labs are either trademarks or registered trademarks of Avid Technology, Inc. in the US and other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Product features, specifications, system requirements, and availability are subject to change without notice.

PN 9329-18923-01 REV A 03/06

## **著作権**

すべての著作権は、アビッドテクノロジー株式会社デジデザイン事業部に帰属します。デジデザインの書面による許可なく、本書の一部または全部を複製することはできません。

上記の製品名は、アビッドテクノロジー株式会社の商標および登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品の機能、仕様、システム要件は、予告なく変更することがあります。

# 目次


第 1 章 はじめに	1
システム必要条件	1
Music Production Toolkit の登録	2
Music Production Toolkit の概要	2
凡例	3
www.digidesign.com について	3
第 2 章 インストール	5
Music Production Toolkit をインストールする	5
TL Space Native をインストールする	6
Music Production Toolkit をオーソライズする	6
期限切れの Toolkit やプラグインを削除する	8
第 3 章 セッションとトラックの機能	9
48 のモノまたはステレオ・トラックに対応	9
最大 24 トラックの QuickPunch に対応	10
MP3 エクスポート・オプション	10
第 4 章 Beat Detective 機能	13
複数のトラックを分割する	13
ディテクション・モード (通常モード) とコレクション・モード	14
第 5 章 付属ソフトウェア	17
DINR LE	17
Hybrid	17
Smack! LE	17
SoundReplacer	17
TL Space Native	17



## 第 1 章

# はじめに

Music Production Toolkit は、Pro Tools LE システムと Pro Tools M-Powered システムに音楽制作用の機能を追加するソフトウェア・オプションです。

 *Pro Tools LE* と *Pro Tools M-Powered* の標準機能については、「*Pro Tools* リファレンス・ガイド」を参照してください。

### 内容

Music Production Toolkit のパッケージには、以下のコンポーネントが入っています。

- Pro Tools ソフトウェア、Music Production Toolkit ソフトウェア・コンポーネント、DigiRack RTAS (リアルタイム AudioSuite)、AudioSuite プラグイン、PDF 版ガイドを含む Pro Tools インストーラ・ディスク。
- TL Space インストーラ・ディスク。
- iLok USB スマートキー (別売) を使って Music Production Toolkit のソフトウェア・コンポーネントをオーソライズするために必要なアクティベーション・コードが記載されたアクティベーション・カード。
- Digidesign 登録情報カード

---

## システム必要条件

Music Production Toolkit を使用するために必要なものは以下のとおりです。

- Pro Tools LE システムまたは Pro Tools M-Powered システム。

および

- iLok USB スマートキー

必要条件について詳しくは、Digidesign のウェブサイト ([www.digidesign.com](http://www.digidesign.com)) をご覧ください。

### 互換性

Digidesign は、Digidesign が動作確認を行なったハードウェアとソフトウェアに対してのみ互換性を保証し、サポートを行います。

Digidesign が動作を保証するコンピュータ、オペレーティング・システム、ハードディスク、他社の機器については、Digidesign のウェブサイト ([www.digidesign.com](http://www.digidesign.com)) に掲載されている最新の一覧表をご覧ください。

---

## Music Production Toolkit の登録

同封の登録カードをご覧ください、その説明に従ってオンラインで登録手続きを行なってください。製品をご登録いただきますと、無償のテクニカルサポートや今後のアップグレードを受けることができます。新規ユーザーとしての大切な手続きですので、今すぐご登録ください。

---

## Music Production Toolkit の概要

### Pro Tools の機能

Music Production Toolkit は、Pro Tools LE と Pro Tools M-Powered に以下の機能を追加します。

- セッションとトラックの機能：
  - モノまたはステレオの 48 オーディオ・トラックの同時再生 / 録音。
  - 最大 24 トラックの QuickPunch。
  - MP3 エクスポート・オプション（リージョンを MP3 ファイルとしてエクスポート）。
- Beat Detective 機能：
  - Beat Detective を複数のトラックにわたって適用する機能。
  - コレクション・モード。

### 付属ソフトウェア

Music Production Toolkit には、以下の Pro Tools 用ソフトウェアが付属しています。

DINR™ (Digidesign Intelligent Noise Reduction) LE プラグイン：オーディオのノイズ削減用。

Hybrid プラグイン：Pro Tools セッションで使用  
する仮想インストゥルメント。

Smack!™ LE プラグイン：コンプレッサー。

SoundReplacer™ プラグイン：サウンド差し換え  
(ドラム・トラックのスネアを別のサンプルに差し  
換えたりすることができる)。


TL Space Native™ プラグイン：コンボリユー  
ション・リバーブ。


## 凡例


Digidesign のガイドでは、メニューの選択やキー・コマンドを以下のとおり表記しています。


表記	操作方法
[ファイル]>[セッションを保存]	[ファイル]メニューから [セッションを保存] を選択します。
Control+N	Control キーを押したまま、N キーを押します。
Control- クリック	Control キーを押したまま、マウスをクリックします。
右クリック (Windows)	マウスの右ボタンを押します。

文中のマークは、以下の内容を表しています。

 *Pro Tools* システムを活用するためのヒント。

 *Pro Tools* セッションのデータや *Pro Tools* システムの性能に影響がある重要な注意。

 キーボードやマウスを使ったショートカット。

 このガイドの別のセクションまたは別の *Pro Tools* ガイドへの関連。

## www.digidesign.com について

Pro Tools システムを最大限に活用するため、Digidesign のウェブサイト ( [www.digidesign.com](http://www.digidesign.com) ) をご利用ください。ウェブサイトでは、以下のようサービスを提供しています。

サポート「テクニカルサポート」と「カスタマーサービス」では、ソフトウェアのアップデートやオンライン・マニュアルをダウンロードできます。「互換情報」では、システム対応状況などを確認できます。「アンサーベース」では、よくある質問を検索することができます。「ユーザーカンファレンス」では、Pro Tools のユーザー同士の情報交換ができます。

トレーニング (英語のみ) Pro Tools の認定オペレータやエキスパートになりましょう。オンライン・コースで自習したり、Pro Tools の認定トレーニング・センターで実施している授業を調べてみましょう。

製品とディベロッパー「製品」では、Digidesign 製品のデモ版をダウンロードできます。「ディベロッパー」には、プラグイン、アプリケーション、ハードウェアなど開発パートナーの製品情報を掲載しています。

ニュースとイベント「ニュース」には、Digidesign からの最新のお知らせを掲載しています。「イベント」では、Pro Tools デモンストレーションへの参加申込ができます。

その他にもいろいろな情報を掲載しています。ぜひ一度 Digidesign のウェブサイト ( [www.digidesign.com](http://www.digidesign.com) ) をご覧ください。



## 第 2 章

# インストールシヨン

## Music Production Toolkit をインストールする

**▲** *Music Production Toolkit* をインストール前にまず *Pro Tools LE* または *Pro Tools M-Powered* をインストールし、オーソライズしてください（「*Pro Tools* スタートアップ・ガイド」参照）。

*Pro Tools* のインストールが完了したら、次に進んでください

Music Production Toolkit をインストールするには：

- 1 *Pro Tools* のインストーラ・ディスクを、CD/DVD ドライブに挿入します。
- 2 Music Production Toolkit のインストーラのアイコンをクリックします。
  - ・ Music Production Toolkit Setup.exe (Windows)または
  - ・ Install Music Production Toolkit (Macintosh)
- 3 画面の指示に従ってインストールします。

インストーラは、Music Production Toolkit 機能（MP3 エクスポート・オプションを含む）および以下のソフトウェアをインストールします。

- ・ DINR LE
- ・ Hybrid
- ・ Smack! LE
- ・ SoundReplacer

**▲** *TL Space Native* のインストールは、別途行ないます。6 ページの「*TL Space Native* をインストールする」参照。

4 Music Production Toolkit およびソフトウェア・コンポーネントを使用するには、各ソフトウェア・コンポーネント（Music Production Toolkit も含めて）をオーソライズする必要があります（6 ページの「Music Production Toolkit をオーソライズする」参照）。

**▲** *Music Production Toolkit* のソフトウェア・コンポーネントをオーソライズせずに *Pro Tools* を起動すると、起動中にコンポーネントをオーソライズするようメッセージが表示されます。

---

## TL Space Native をインストールする

TL Space Native プラグインとファクトリー・インパルス・レスポンスをインストールするには：

- 1 CD/DVD ドライブに TL Space インストーラ・ディスクを挿入します。
- 2 TL Space Native のインストーラのアイコンをクリックします。
- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールが終了したら、Finish (Windows) または Quit (Macintosh) をクリックします。
- 5 TL Space Native を使用するには、オーソライズが必要です (6 ページの「Music Production Toolkit をオーソライズする」参照)。

TL Space Native のインパルス・レスポンス・ライブラリをインストールするには：

- 1 CD/DVD ドライブに TL Space Impulse Response Library ディスクを挿入します。
- 2 TL Space Native のインストーラのアイコンをクリックします。
- 3 画面の指示に従います。
- 4 インストールが終了したら、Finish (Windows) または Quit (Macintosh) をクリックします。

---


## Music Production Toolkit をオーソライズする

### Music Production Toolkit と付属ソフトウェア・コンポーネント

Music Production Toolkit の各ソフトウェア・コンポーネントを Pro Tools で使用するには、まずオーソライズする必要があります。オーソライズは、ソフトウェアのライセンスをオンラインで有効にし、そのライセンスを iLok USB スマート・キー (iLok) に転送して行ないます。


iLok は dongle に似ていますが、dongle とは異なって様々なソフトウェア・デベロッパの複数のアプリケーションをオーソライズすることができます。

このキー 1 つで、100 以上の iLok 対応ソフトウェアをオーソライズできます。iLok にソフトウェアのオーソライズを組み合わせると、任意のコンピュータ上でそのソフトウェアをオーソライズできます。

 Music Production Toolkit のパッケージに iLok USB スマート・キーは含まれていませんので、別途購入する必要があります。

ライセンスは、各ソフトウェア・コンポーネント固有のもので、Music Production Toolkit のアクティベーション・カードに記載されたアクティベーション・コードを使ってライセンスを有効にすると、ライセンスをオンラインで受け取ることができます。

Music Production Toolkit には、すべてのコンポーネント用のアクティベーション・コードが 1 つ記載されたアクティベーション・カードが入っています。

 iLok のテクノロジーとライセンスについて詳しくは、PDF 版の「iLok ユーザー・ガイド」をお読みください。

以下の Music Production Toolkit のソフトウェア・コンポーネントを Pro Tools で使用するには、まずオーソライズする必要があります。

- Music Production Toolkit 用 Pro Tools LE または Pro Tools M-Powered ( Pro Tools の機能 )。
- DINR LE
- Hybrid
- Smack! LE
- SoundReplacer

Music Production Toolkit のソフトウェア・コンポーネントを iLok でオーソライズするには：


1 まだ iLok.com のアカウントをお持ちでない方は、www.iLok.com で iLok.com のアカウントを作成してください。

2 以下の方法で Music Production Toolkit のライセンスを iLok.com のアカウントに登録します。

- <http://secure.digidesign.com/activation> にアクセスします。
- アクティベーション・コード ( アクティベーション・カードに記載 ) と iLok.com のユーザー ID を入力します。iLok.com のユーザー ID は、iLok.com のアカウントを作成したときの名前です。

3 以下の方法で、iLok.com のアカウントのライセンスを iLok USB スマート・キーに転送します。

- iLok をコンピュータの USB ポートに差し込みます。
- www.iLok.com を開き、ログインします。
- 画面の指示に従ってライセンスを iLok に転送します。

 iLok のテクノロジーとライセンスについて詳しくは、PDF 版の「iLok ユーザー・ガイド」をお読みください。

4 Pro Tools を起動します。

5 オーソライズされていないプラグインやソフトウェアがあると、それらをオーソライズするよう

メッセージが表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアをオーソライズしてください。

## MP3 エクスポート・オプション

MP3 エクスポート・オプションは、リージョンのエクスポートまたは MP3 ファイルへのバウンス・レコーディングを初めて行なうときにオーソライズします。

MP3 エクスポート・オプションをオーソライズするには：

1 Pro Tools を起動します。

2 セッションを開きます。

3 以下のいずれかを行います。

- リージョンをクリックし、[ リージョンリスト ]>[ ファイルとしてエクスポート ] を選択します。


または

- 編集範囲を選択し、[ ディスクにバウンス ] を選択し、[ リージョンリスト ]>[ ファイルとしてエクスポート ] を選択します。

4 ファイルの種類として MP3 を選択します。

5 [ エクスポート ] ( エクスポート・ダイアログ ) または [ バウンス ] ( ディスクにバウンス・ダイアログ ) をクリックします。

6 Pro Tools MP3 オプション・ダイアログで、[ オーソライズ ] ( Authorize ) をクリックします。

 [ オーソライズ ] が淡色表示になっている場合は、MP3 オプションのフォルダとファイルをすべて削除してからやり直してください。

7 Music Production Toolkit のパッケージに入っている Pro Tools MP3 オーソライゼーション・コードを入力します。

8 [ 次 ] ( Next ) をクリックし、画面の指示に従います。

---

## 期限切れの Toolkit やプラグインを削除する

Music Production Toolkit やソフトウェア・コンポーネントは、いつでもシステムから削除できます。

### Music Production Toolkit のコンポーネントをアンインストールする (TL Space Native を除く)

#### Windows

Windows XP の Music Production Toolkit を削除するには :

- 1 [ スタート ]>[ コントロールパネル ] を選択します。
- 2 [ アプリケーションの追加と削除 ] をダブルクリックします。
- 3 現在インストールされているプログラムの中から Digidesign Music Production Toolkit を選択します。
- 4 画面の指示に従います。
- 5 削除が完了したら、[ アプリケーションの追加と削除 ] ウィンドウを閉じます。

#### Macintosh

Macintosh の Music Production Toolkit を削除するには :

- 1 CD/DVD ドライブに Music Production Toolkit のインストーラ・ディスクを挿入します。
- 2 Music Production Toolkit のインストーラのアイコンをクリックします。
- 3 画面の指示に従い、[ アンインストール ] (Uninstall) を選択します。
- 4 アンインストールが完了したら、[ 終了 ] (Quit) をクリックします。

## TL Space Native をアンインストールする

#### Windows

TL Space Native プラグインとファクトリー・インパルス・レスポンスを削除するには :

- 1 [ スタート ]>[ コントロールパネル ] を選択します。
- 2 [ アプリケーションの追加と削除 ] をダブルクリックします。
- 3 インストールされているアプリケーションの中から TL Space を選択します。
- 4 [ 変更と削除 ] ボタンをクリックします。
- 5 [ OK ] をクリックし、プラグインを削除します。
- 6 削除が完了したら、[ アプリケーションの追加と削除 ] ウィンドウを閉じます。

#### Mac OS X


TL Space Native プラグインとファクトリー・インパルス・レスポンスを削除するには :

- 1 CD/DVD ドライブに TL Space インストーラ・ディスクを挿入します。
- 2 TL Space Native のインストーラのアイコンをクリックします。
- 3 画面の指示に従い、[ アンインストール ] (Uninstall) を選択します。
- 4 アンインストールが完了したら、[ 終了 ] (Quit) をクリックします。

## 第 3 章

# セッションとトラックの機能


Music Production Toolkit は、Pro Tools LE と Pro Tools M-Powered にセッションとトラックの様々な機能（MP3 エクスポート・オプションを含む）を追加します。

 *Pro Tools* のセッションとトラックの機能について詳しくは、「*Pro Tools* リファレンス・ガイド」をお読みください。

---

## 48 のモノまたはステレオ・トラックに対応

アクティブであり、ボイス・アサインメントが DYN（ダイナミック・ボイス・アロケーション）に設定された最初の 48 オーディオ・トラックが再生されます。


 アクティブでないか、ボイス・アサインメントがオフになっているトラックは再生されません。

オーディオ・トラックが 48 以上あるときは、以下のとおりトラックの優先度を高くすることによって 49 番目以降のトラックを再生することができます。

- ・ 番号が小さいトラックを非アクティブにします（トラック名をクリックして [トラック] > [非アクティブ] を選択）。
- ・ 番号が小さいトラックのボイス・アサインメントをオフにします（ボイス・セレクタをクリックして [オフ] を選択）。

- ・ 番号が大きいトラック名のボタンを左（ミックス・ウィンドウ）または上（編集ウィンドウ）にドラッグして、最初の 48 のオーディオ・トラックの中へ移動します。48 番目のオーディオ・トラックが 49 番目になり、そのボイス・アサインメントがオフになります。

上記の操作のいずれかを行なうと、元のトラック（49 番目以降）のボイス・アサインメントがオフから DYN へ自動的に切り替わります。

 トラックの優先順位とボイス・アサインメントについて詳しくは、「*Pro Tools* リファレンス・ガイド」をお読みください。

## Pro Tools LE システムと Pro Tools M-Powered システムの性能

Music Production Toolkit の Pro Tools LE システムと Pro Tools M-Powered システムの基本性能は、単体の Pro Tools LE システム（オーディオ・トラック 128、AUX インプット 128、インストゥルメント・トラック 32、MIDI トラック 256 など）と同じです。

📖 *Pro Tools LE システムと Pro Tools M-Powered システムの性能について詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。*

---

## 最大 24 トラックの QuickPunch に対応

Music Production Toolkit では、QuickPunch を使って最大 24 のモノまたはステレオのオーディオ・トラックを同時に録音できます。

⚠️ **オーディオ・トラックと QuickPunch トラックの合計は、48 が最大です。**

📖 *QuickPunch を使った録音について詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。*

---

## MP3 エクスポート・オプション

Music Production Toolkit では、リージョンをバウンスまたはエクスポートして MP3 ファイルにすることができます（リージョンリストの [ファイルとしてエクスポート] コマンド）。

### MP3 (MPEG-1 Layer3)

圧縮フォーマット MP3 (MPEG-1 Layer3) は、インターネットでのオーディオのストリーミングやダウンロードおよび携帯機器での再生に使用されています。このファイルを使用するには、「MP3 オプション」が必要です。

このフォーマットを選択すると、Pro Tools のアウトプット・オプション・ダイアログの解像度ポップアップメニューは使用できなくなります。解像度はエンコーダによって設定されます。

選択したサンプルレートは、サンプルレートの「ベース」としてコーデックに渡されます。作成されるファイルの実際のサンプルレートは、MP3 エンコーダ・オプション・ダイアログで決めます。たとえばベースのサンプルレートとして 48000 Hz を選択すると、MP3 エンコーダ・オプション・ダイアログではエンコードのクオリティに応じて 48、24、12 kHz が選択できます。

MP3 フォーマットへエクスポートまたはバウンスするときは、以下のオプションが設定できます。

#### エンコーダの設定

エンコーダの速度 (Speed): バウンスしたファイルのオーディオ・クオリティを決めます。オプションは 2 つあります。クオリティ優先 (Highest Quality) と時間優先 (Fastest Encoding Time) です。

クオリティを優先すると、時間を優先するときの 5 倍近い時間をオーディオの処理に要します。時間に余裕があって、再現性が重要であるときのみクオリティを優先してください。

固定ビットレート (Constant Bit Rate): CBR ポップアップメニューで選択したビットレートでファイルをエンコードします。ビットレートが固定のため、エンコードしたオーディオのクオリティは圧縮する素材の性質によって異なります。帯域幅が予想できるので、インターネットでのストリーミングに適しています。

## ID3 タグ情報設定

ID3 タグのバージョン：ID3 タグは、エンコードされたオーディオ・ファイルに関するデータを保存し、その情報は MP3 プレーヤーによって表示されます。Pro Tools は、旧式の MP3 プレーヤーとも互換性を保つため、このタグの 3 つのバージョンに対応しています。

- ・ ID3 v1.0: MP3 ファイルのストリーミングの終了後にタグ情報が表示されます。
- ・ ID3 v1.1: バージョン 1.0 のタグ情報に、トラック番号が追加されています。
- ・ ID3 v2.3: MP3 ファイルのストリーミングの開始前にタグ情報が表示されます。

**▲** ID3 v2.3 が MP3 フォーマットの標準になりつつありますが、ID3 v2.3 に対応していない MP3 プレーヤーもあります。互換性について詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

タイトル / アーティスト / アルバム / コメント (Title/Artist/Album/Comment) : MP3 ファイルのタイトルやアーティストその他の情報を入力します。この情報は、MP3 プレーヤーに表示されません。

ジャンル (Genre) : ファイルのジャンルを選択します。この情報は、MP3 プレーヤーに表示されます。また、検索可能なカタログやデータベースに利用される場合もあります。

トラック番号 (Track Number) : ID3 タグの v1.1 または v2.3 を選択すると、CD のトラック番号が入力できます。この情報は、MP3 プレーヤーに表示されます。

年 (Year) : ファイルを作成した年を入力します。この情報は、MP3 プレーヤーに表示されます。

## Mac のファイル設定

Mac のファイルの種類と作成者 (Type/Creator)

Macintosh でファイルを使用するときは、Macintosh のファイルの種類と作成者を入力します。これによって、ファイルをダブルクリックして MP3 プレーヤーを起動することができます。

デフォルト・ボタン (Default)

ダイアログの設定をすべてデフォルト値に戻します。



## 第 4 章

# Beat Detective 機能

Music Production Toolkit では、Pro Tools で Beat Detective 機能が使用できます。

📖 *Pro Tools の編集機能について詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。*

## 複数のトラックを分割する

Music Production Toolkit では、ビート・トリガーを使って 1 つまたは複数のトラックを分割することができます。

以下の例では、5/4 の 2 小節分のドラム・ループが選択されています。キック、スネア、ハイ・ハット、オーバーヘッド・マイクは別々のトラックに録音されています。

検知セクションの分解能 (Resolution) を小節 (Beats) にしてキックを分析すると、Beat Detective は 1 拍目と 4 拍目のトランジェントにビート・トリガーを配置します (図 1 参照)。



図 1. キックのトラック

選択範囲をスネア、ハイ・ハット、オーバーヘッド・マイクのトラックに拡張し、分割を実行すると、キックのビート・トリガーをもとに各ドラム・トラックのリージョンが同じ位置で分割されます (図 2 参照)。

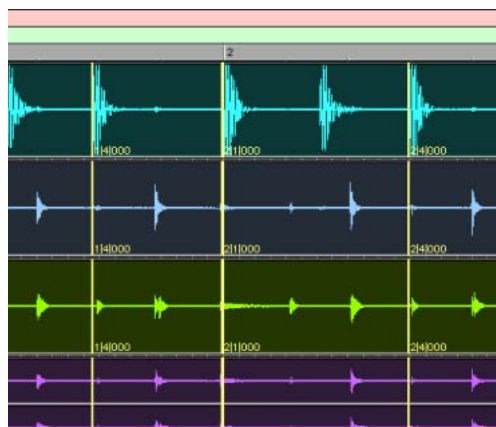


図 2. キック、スネア、ハイ・ハット、オーバーヘッド・マイクの各トラック

分割したリージョンは、1 つのグループとしてコンフォームできます。

複数のトラックを扱うときは、コレクション・モードを利用することもできます。コレクション・モードでは、各トラックのトリガーを別々に分析することができ、必要に応じてトラック独自のトリガーを全体に適用することもできます。詳しくは、14 ページの「ディテクション・モード (通常モード) とコレクション・モード」をお読みください。

## ディテクション・モード（通常モード）とコレクション・モード

複数のトラックを分析するときは、検知するための設定がすべて同じだと、正しく分析するのが難しい場合があります。Beat Detectiveのコレクション・モードでは、検知するための設定が異なるトラックから収集したビート・トリガーを使って、小節 | 拍マーカ―やDigiGrooveテンプレートを生成したり、リージョンを分割することができます。あるトラックで作成したビート・トリガーを別のトラックに適用できるのは、コレクション・モードだけです。

トラックを別々に分析してビート・トリガーを選択する方法は、間違ったトリガーを手作業で削除、挿入、調整するよりも効率的な場合が多いです。

### ドラム・トラックとコレクション・モード

キック、スネア、ハイ・ハット、オーバーヘッド・マイクのドラム・トラックがあるとします。ハイ・ハット（オーバーヘッド・マイクのトラック）に反応するくらい感度を上げて複数のトラックを分析すると、間違ったトリガーが多数できてしまいます。

一方、オーバーヘッド・マイクのトラックだけを分析すると、ビート・トリガーが他のトラックよりも少し遅れます（サウンドがオーバーヘッド・マイクに届くのに時間がかかるため）。このまま選択範囲を他のドラム・トラックに拡張して分割しても、キック、スネア、タムのリージョンを正しく分割することはできません（図3参照）。

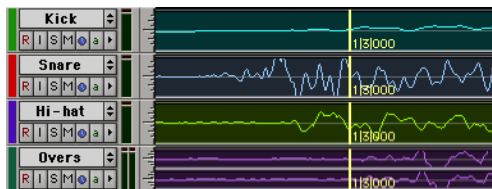
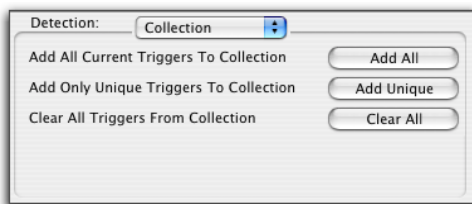


図3. オーバーヘッド・マイクのビート・トリガーは遅れる

コレクション・モードを使用すると、トラックごとに適切なトリガーが得られるように、それぞれ別の設定で分析することができます。各トラックのトリガーは、すべてコレクションに追加することができます。また、独自のトリガーだけを選択することもできます。このトリガーのコレクションを使用して、小節 | 拍マーカ―やDigiGrooveテンプレートの生成、リージョンの分割を行ないます。

## コレクション・モードを使用する

コレクション・モードは、小節 | 拍マーカー生成 (Bar | Beat Marker Generation)、グループ・テンプレート抽出 (Groove Template Extraction)、リージョン分割 (Region Separation) (オーディオのみ) の各モードで使用できます。コレクション・モードは Beat Detective の検知セクションで選択します。



Beat Detective のコレクション・モード・オプション


コレクション・モードを使用するには：

1 編集ウィンドウでオーディオの一部または1つのトラックを選択します。選択範囲の最初と最後はビートと完全に一致している必要があります。


2 Beat Detective ウィンドウで、以下のモードのひとつを選択します。

- ・ 小節 | 拍マーカーを生成 (Bar | Beat Marker Generation)
- ・ グループ・テンプレート抽出 (Groove Template Extraction)
- ・ リージョン分割 (Region Separation) (オーディオのみ)

3 選択範囲を設定します。

 Beat Detective の選択範囲の設定方法については、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。


4 選択範囲内のピーク・トランジエントが正確に検知されるよう検知オプションの設定を行いません。

 ビート・トリガーの生成方法については詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。

5 コレクション・モード・ボタン (Collection Mode) をクリックします。


6 検知セクションで、[Add] をクリックし、すべてのビート・トリガーをコレクションに追加します。

7 [Normal Mode] ボタンをクリックし、分析する次のトラックへ選択範囲を移動します。選択範囲が常に一定になるよう注意してください。

 Start+P (Windows) または Control+P (Macintosh) を押すと選択範囲が上に、Start+ セミコロン (Windows) または Control+ セミコロン (Macintosh) を押すと選択範囲が下に移動します。

コマンド・キーボード・フォーカスをオンにしているときは、P を押すと選択範囲が上に、セミコロン (;) を押すと選択範囲が下に移動します。Shift キーを押しながら以上の操作を行なうと、選択範囲が追加されます。

8 選択範囲内のピーク・トランジエントが正確に検知されるよう検知オプションの設定を行いません。

 ビート・トリガーの生成方法については詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。

9 コレクション・モード・ボタンをもう一度クリックします。

10 以下のいずれかを行います。

- ・ 検知セクションの [Add Unique Triggers] をクリックして、独自のトリガーだけをコレクションに追加します。
- ・ [Add All] をクリックして、すべてのトリガーをコレクションに追加します。
- ・ [Clear All] をクリックして、すべてのトリガーをコレクションからクリアします。

コレクションに追加したトリガーのセットは、それぞれ別の色で表示されます。マイクの信号漏れなどにより、コレクション内でトリガーが接近しすぎているときは、早い方のトリガーだけが追加されます (16 ページの図 16 参照)。

11 分析するトラックごとに手順 7-10 を繰り返します。

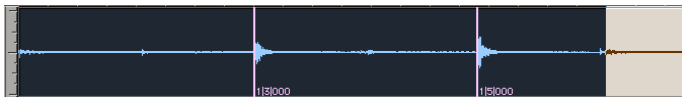
コレクション・モードで保存したビート・トリガーは、セッションと共に保存されます。従って、セッションを改めて開いたときは、以前のコレクションの素材が残っています。

12 必要なビート・トリガーをコレクションに追加したら、このコレクションを使って小節 | 拍マーカーやグループ・テンプレートの生成、リージョンの分割を行うことができます。ただし、これらの操作はコレクション・モードのサブセクション (トリガーが複数の色で表示されている) で行なう必要があります。

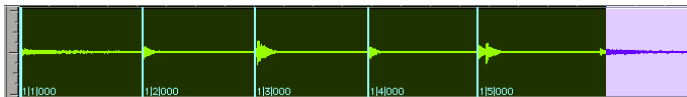
💡 複数のトラックにわたってリージョンを分割するときは、すべてのトラックが含まれるように選択範囲を拡張してください。



キックのトラックで検知したビート・トリガーをコレクションに追加



スネア・トラックで検知した独自のビート・トリガーをコレクションに追加



ハイ・ハットのトラックで検知した独自のビート・トリガーをコレクションに追加



オーバーヘッド・マイク・トラックに適用したビート・トリガーのコレクション

図 4. キック、スネア、ハイ・ハット各トラック独自のビート・トリガーを生成し、そのコレクションを適用したオーバーヘッド・マイク・トラック

## 第 5 章

# 付属ソフトウェア

Music Production Toolkit には、以下のソフトウェアが付属しています。

---

### DINR LE

DINR LE は、テープ・ヒス、エアコンの音、マイク・プリアンプのノイズなど広帯域と狭帯域のノイズを削減します。

📖 *DINR* の使用方法について詳しくは、「*Digidesign* プラグイン・ガイド」を参照してください。

---

### Hybrid

Digidesign の AIR (Advanced Instrument Research) グループが開発した Hybrid は、伝説のアナログ・シンセサイザの温かみと最新のデジタル・シンセサイザの機能を併せ持つシンセサイザ・プラグインです。

Hybrid は、23 のフィルタ・モードを持つサンプル精度のシンセシス・エンジンを搭載し、そのモジュレーションとパフォーマンスの可能性が尽きることはありません。

📖 *Hybrid* の使用方法について詳しくは、「*Hybrid* プラグイン・ガイド」を参照してください。

---

### Smack! LE

The Smack! LE は、3 つのコンプレッション・モードと独自のコンプレッション・レシオでサウンドのコンプレッションを自在に行ないます。

📖 *Smack! LE* の使用方法について詳しくは、「*Digidesign* プラグイン・ガイド」を参照してください。

---

### SoundReplacer

SoundReplacer は、ドラム・トラックのスネアだけを別のサンプルと差し替えるなど、サウンドの置換を行なうプラグインです。

📖 *SoundReplacer* の使用方法について詳しくは、「*Digidesign* プラグイン・ガイド」を参照してください。

---

### TL Space Native

TL Space Native は、ポスト・プロダクションや音楽制作のための強力なコンボリユーション・リバーブです。TL Space のパッケージには、コンサート・ホールからプレート・リバーブまで、高品質のサンプル・リバーブ・スペースのライブラリが付属しています。

📖 *TL Space Native* の使用方法については、*TL Space* の説明書をお読みください。







[www.digidesign.co.jp](http://www.digidesign.co.jp)

DIGIDESIGN  
〒107-0052  
東京都港区赤坂2-10-7 AT1新輪ビル4F  
アビッドテクノロジー株式会社内

製品情報  
Tel: 03.3505.7963  
Fax: 03.3505.3467

テクニカル・サポート  
Tel: 03.3505.4762  
(HD/TDM: #30, LE: #31)  
Fax: 03.3505.3467

カスタマー・サポート  
Tel: 03.3505.4762 (# 22)  
Fax: 03.3505.3467